

別紙

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	仁田之浜地区内道路測量調査設計委託業務	伊方町	9,792,000	8,000,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	仁田之浜地区内道路測量調査設計委託業務
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町
交付金事業実施場所		愛媛県西宇和郡伊方町仁田之浜
交付金事業の概要		道路新設計画延長 L=0.16km 測量業務1式 設計業務1式 調査業務1式 緊急車両等の進入路及び災害時の避難路の確保による地域住民の生活環境の向上を図るため、人家が密集する仁田之浜地区での道路新設に必要な測量調査設計業務を委託します。

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 伊方町第2次総合計画 基本目標[3]住環境・社会基盤～定住の希望を叶える、快適・安心・安全なまちづくり 施策3-1 道路・河川の整備、交通環境の充実 2 地区内生活道路の整備 ※災害時等の緊急車両の搬入、地域住民の生活環境の利便性、福祉の向上を図ります。</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和元年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和元年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和4年度</p>	
	<p>工事終了後の住民満足度80%以上（回答数15名以上）</p>	<p>目標達成率：満足と回答した数 ÷ 回答数 × 100</p>	<p>成果実績</p>			
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>80</p>	
			<p>達成度</p>			
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>令和3年度に完成予定のため、令和4年度に再評価を実施します。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	測量調査設計委託業務	活動実績	件	1	1	1
		活動見込	件	1	1	1
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費 等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考		
総事業費	60,658,000	3,251,000	9,792,000	9,792,000		
交付金充当額	50,000,000	2,900,000	8,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	50,000,000	2,900,000	8,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
仁田之浜地区内道路測量調査設計委託業務（請負）		制限付一般競争入札		南海測量設計株式会社		9,792,000
交付金事業の担当課室	建設課 地域整備室					
交付金事業の評価課室	建設課 地域整備室					

別紙

I. 事業評価総括表（令和元・2年度（繰越））

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	三崎地区内1号線測量調査設計委託業務	伊方町	17,709,000	14,000,000	

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元・2年度（繰越））

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	三崎地区内1号線測量調査設計委託業務
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町
交付金事業実施場所		愛媛県西宇和郡伊方町三崎
交付金事業の概要		道路新設計画延長 L=0.2km 測量業務1式 調査業務1式 設計業務1式 災害時の避難路の確保による地域住民の生活環境の向上を図るため、地区指定一時避難場所である三崎農道への接続道路新設に必要な測量設計調査業務を委託します。

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 伊方町第2次総合計画 基本目標[3]住環境・社会基盤～定住の希望を叶える、快適・安心・安全なまちづくり 施策3-1 道路・河川の整備、交通環境の充実 2 地区内生活道路の整備 ※災害時等の緊急車両の搬入、地域住民の生活環境の利便性、福祉の向上を図ります。 目標：地区指定一時避難場所になっている三崎農道への接続道路1本を新設し、災害時等の緊急車両の搬入等を可能にすることで、地域住民の日常生活における安全と安心を図ります。</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和元年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>		<p>令和2年度</p>	
<p>事業期間の設定理由</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和7年度</p>	
	<p>工事終了後の住民満足度80%以上（回答数20名以上）</p>	<p>目標達成率：満足と回答した数 ÷ 回答数 × 100</p>	<p>成果実績</p>			
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>80</p>	
			<p>達成度</p>			
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>令和6年度に完成予定のため、令和7年度に再評価を実施します。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	測量調査設計委託業務	活動実績	件	1	1	1
		活動見込	件	1	1	1
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費 等	令和元年度	平成30年度	平成29年度	備考		
総事業費	17,709,000	3,251,000	60,658,000	17,709,000		
交付金充当額	14,000,000	2,900,000	50,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	14,000,000	2,900,000	50,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
三崎地区内1号線測量調査 設計委託業務（請負）		制限付一般競争入札		共立工営株式会社		17,709,000
交付金事業の担当課室	建設課 地域整備室					
交付金事業の評価課室	建設課 地域整備室					

別紙

I. 事業評価総括表（令和元・2年度（繰越））

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名 又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	三崎港周辺観光施設整備工事	伊方町	182,682,000	170,000,000	

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元・2年度（繰越））

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	三崎港周辺観光施設整備工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町
交付金事業実施場所		愛媛県西宇和郡伊方町三崎
交付金事業の概要		整備面積 約5,500㎡ 展望デッキ整備工事、わくわく広場整備工事、おまつり広場整備工事、植栽整備工事、モニュメント・オブジェ整備工事、駐車場整備工事、その他周辺整備工事 四国最西端の観光交流拠点施設「佐田岬はなはな」の集客能力強化による地域の魅力向上を図ることを目的として、屋外周辺施設を整備します。

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 伊方町第2次総合計画 基本目標[5]産業振興～農・漁・商工・観光が一体となる、産業全体が成長するまちづくり 施策5-3 観光・ツーリズム・商工業の振興 2 観光施設の整備・機能拡充 観光施設グレードアップ事業 ・屋外周辺施設を新たに整備することにより、観光客の満足度を高め、他地域との競争力をアップする。 目標：年間来場者数 155,000人 → 186,000人</p>		
<p>事業開始年度</p>	<p>令和元年度</p>	<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和2年度</p>
<p>事業期間の設定理由</p>			

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度	
	186,000人以上	年間来場者数 (現状の20%増)	成果実績				
			目標値	人	186,000		
			達成度				
	評価年度の設定理由						
	令和2年度の来場者数をもって評価するため、令和3年度に評価を実施します。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	年度	年度	
	整備面積	活動実績	m ²	5,500			
		活動見込	m ²	5,500			
		達成度		100.0%			
交付金事業の総事業費等	令和元年度	年度	年度	備考			
総事業費	182,682,000						
交付金充当額	170,000,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	170,000,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
三崎港周辺観光施設整備工事（請負）		制限付一般競争入札		堀田建設株式会社 伊方支店		182,682,000	
交付金事業の担当課室	産業課 観光商工室						
交付金事業の評価課室	産業課 観光商工室						

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	三崎港周辺観光施設整備工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	伊方町
交付金事業の成果目標	年間来場者数186,000人以上（平成30年度実績155,000人の20%増）
交付金事業の成果指標	年間来場者数 （令和2年6月～令和3年5月における直売所・食堂・カフェにおけるレジ客数の合計×3）
評価年度	令和3年度
成果実績	383,748人
目標値	186,000人
達成度（%）	206.3%
評価年度の設定理由	令和2年度の来場者数をもって評価するため、令和3年度に評価を実施しました。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	令和2年5月30日に観光交流拠点施設「佐田岬はなはな」はリニューアルオープンしました。平成30年度実績は、家族連れなどで複数人で来場しても、まとめて支払するのではないかとという根拠から、レジ客数3倍したものを年間来場者数として測定していたため、同様の方法により令和2年6月～令和3年5月における年間来場者数を測定したところ、383,748人となりました。新型コロナウイルスの感染拡大という状況でありながら、来場者数が大きく増加したことから本事業は十分な集客効果を得ることができたと評することができます。来場者数の更なる増加の為に検温・消毒・出入口を分ける等コロナ対策を徹底すると共に、各所に配布しているパンフレットやインターネットにて公開しているPR動画を活用した情報発信に努めてまいります。また、来場者100人を対象としたアンケートを行ったところ、県内から訪れた来場者が最も多く、42%であり、その次に多かったのが九州から訪れた来場者で、34%でした。さらに、家族で来場したと回答した来場者が半数を占めていたこともわかりました。これらの結果を踏まえまして、九州と四国との玄関口であるという当町の特性を生かした地元製品の販売促進を行うと同時に、出品登録者の更なる確保を進めます。また、指定管理者である朝日共販株式会社をはじめとした関係団体が定期的にマルシェなどのイベントを開催することで、これらの来場者を対象とした更なる来場者の確保を目指してまいります。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

（備考）事業ごとに作成すること。

別紙

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	伊方町地域活性化イベント事業	伊方町	5,954,429	5,397,391	

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	地域活性化措置	伊方町地域活性化イベント事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町
交付金事業実施場所		伊方町湊浦
交付金事業の概要		<p>伊方町において、「みかんと杜氏の里」のイメージアップによる地酒等特産品の販路拡大及び地域の魅力向上を図ることを目的として、きなはいや伊方まつり2019を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杜氏の里の酒まつりと食の祭典 ・和太鼓の演奏 ・きなはいや伊方おどり ・きなはいや市場 ・花火大会 ・活魚のつかみどり ・こどもすもう伊方場所 ・ふれあい広場他きなはいや伊方まつり2019に係る経費 （イベント用仮設・設備費、宣伝費、イベント費他）

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 伊方町第2次総合計画 基本目標[5]産業振興～農・漁・商工・観光が一体となる、産業全体が成長するまちづくり 施策5-3 観光・ツーリズム・商工業の振興 3 観光イベントの拡充 観光まちづくりイベント実施事業 ・伊方町の個性と観光資源を活かした観光まちづくりイベントを開催することにより、観光交流人口の拡充と伊方町の知名度アップを図ります。</p>		
<p>事業開始年度</p>	<p>令和元年度</p>	<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和元年度</p>
<p>事業期間の設定理由</p>			

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和元年度
	観客動員数 30,000人以上	観客動員数	成果実績		人	32,000		
			目標値		人	30,000		
			達成度		%	107.0%		
評価年度の設定理由								
事業完了後、速やかに評価できるため、同年度にて評価を実施します。								
交付金事業の定性的な成果及び評価等								
令和元年7月28日にきなはいや伊方まつり2019を開催し、来場者数も直近に開催した平成29年度の31,500人を上回る、32,000人となり、地域の魅力向上及び観光交流人口の拡充と伊方町の知名度アップを図ることができました。								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	交付対象の催し物・企画 の数	活動実績		件	5	0	5	
		活動見込		件	5	0	5	
		達成度		%	100.0%	0.0%	100.0%	
交付金事業の総事業費 等	平成29年度	平成30年度	令和元年度		備考			
	総事業費	5,090,301	0	5,954,429	5,954,429			
	交付金充当額	5,000,000	0	5,397,391				
	うち文部科学省分	0		0				
	うち経済産業省分	5,000,000	0	5,397,391				

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
CATV	随意契約	八西CATV	54,000
イベント消耗品	随意契約	伊方町商工業協同組合	38,448
イベント消耗品	随意契約	(株)丸越	3,477
こどもすもう消耗品	随意契約	伊方町商工業協同組合	228,657
チラシ(活魚のつかみどり)	随意契約	(株)豊予社	23,328
のぼり6種	随意契約	(株)豊予社	62,640
パンフレット	随意契約	(株)豊予社	32,400
ポロシャツ	随意契約	(株)豊予社	43,848
横幕、ステージ看板	随意契約	(株)八代サイン工房	38,880
会場仮設	指名競争	四国運送(株)	3,132,000
活魚のつかみどり	随意契約	八幡浜漁協	40,000
検査料	随意契約	(株)ビー・エム・エル	4,320
広報用ポスター作成等	随意契約	(株)豊予社	41,040
新聞等宣伝広告	指名競争	セーラー広告(株)	923,643
保険料	随意契約	損害保険ジャパン 日本興亜(株)	59,140
誘導委託	指名競争	愛媛総合警備保障(株)	1,228,608
交付金事業の担当課室	産業課観光商工室		
交付金事業の評価課室	産業課観光商工室		

別紙

I. 事業評価総括表（令和元・2年度（繰越））

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名 又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	伊方町観光交流拠点施設運 営支援業務	伊方町	14,910,500	14,000,000	

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元・2年度（繰越））

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	地域活性化措置	伊方町観光交流拠点施設運営支援業務			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町			
交付金事業実施場所		愛媛県西宇和郡伊方町三崎			
交付金事業の概要		<p>検討会の企画・調整・運營業務、PR資料・動画の作成業務 四国最西端の観光交流拠点施設「佐田岬はなはな」の集客能力強化による地域の魅力向上を 図ることを目的として、コンサル業者に検討組織の運営支援を委託し、施設の運営体制及び誘 客促進施策を策定します。</p>			
交付金事業に関する 都道府県又は市町村の 主要政策・施策とその 目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 伊方町第2次総合計画 基本目標[5]産業振興～農・漁・商工・観光が一体となる、産業全体が成長するまちづくり 施策5-3 観光・ツーリズム・商工業の振興 2 観光施設の整備・機能拡充 観光施設グレードアップ事業 ・各種専門家を中心とした検討組織の運営支援をコンサル業者に委託し、より専門 的、実践的な調査分析、企画立案を行うことで、来場者数の増加、満足度の向上を 図る。 目標：年間来場者数 155,000人 → 186,000人</p>			
事業開始年度		令和元年度	事業終了（予定）年度		令和2年度
事業期間の設定理由					

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度
	186,000人以上	年間来場者数 (現状の20%増)	成果実績			
			目標値	人	186,000	
			達成度			
	評価年度の設定期由					
	事業完了後、施設利用が開始されてから評価することができるため、令和3年度に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	年度	年度
	検討会の開催数	活動実績	回	8		
		活動見込	回	8		
		達成度		100.0%		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	年度	年度	備考		
総事業費	14,910,500					
交付金充当額	14,000,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	14,000,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
伊方町観光交流拠点施設運営支援業務		随意契約（提案公募型プロポーザル）		一般財団法人 電源地域振興センター		14,910,500
交付金事業の担当課室		産業課 観光商工室				
交付金事業の評価課室		産業課 観光商工室				

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
地域活性化措置	伊方町観光交流拠点施設運営支援業務
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	伊方町
交付金事業の成果目標	年間来場者数186,000人以上（平成30年度実績155,000人の20%増）
交付金事業の成果指標	年間来場者数 （令和2年6月～令和3年5月における直売所・食堂・カフェにおけるレジ客数の合計×3）
評価年度	令和3年度
成果実績	383,748人
目標値	186,000人
達成度（%）	206.3%
評価年度の設定理由	令和2年度の来場者数をもって評価するため、令和3年度に評価を実施しました。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	令和2年5月30日に観光交流拠点施設「佐田岬はなはな」はリニューアルオープンしました。平成30年度実績は、家族連れなどで複数人で来場しても、まとめて支払するのではないかと根拠から、レジ客数3倍したものを年間来場者数として測定していたため、同様の方法により令和2年6月～令和3年5月における年間来場者数を測定したところ、383,748人となりました。新型コロナウイルスの感染拡大という状況でありながら、来場者数が大きく増加したことから本事業は十分な集客効果を得ることができたと評することができます。佐田岬はなはなに係る連絡会では、オープン前はコロナウイルス感染拡大に伴う、式典等の調整を行い感染防止対策に努めました。オープン後はイベント開催の可否が主に話し合われましたが、今後はコロナ禍の中でどのようにしてイベント運営を行っていくか協議していく場にしていきたいと考えています。また、検討会では、運営体制の整理や意見交換を行い、リニューアルオープン後の運営方針を定めました。また、事例研究を行い、はなはなに取り入れられる要素を探しました。検討会で協議された内容を踏まえまして、今後は来場者数の更なる増加の為に三崎高校の「せんたん部」での活動や総合的な学習（探究）の時間における活動等とタイアップしたイベント展開や各所に配布しているパンフレットやインターネットにて公開しているPR動画を活用した情報発信に努めてまいります。
評価に係る第三者機関等の活用の有無 （備考）事業ごとに作成すること。	無

別紙

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	情報教育等機器備品購入事業	伊方町	18,810,000	14,000,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	情報教育等機器備品購入事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町
交付金事業実施場所		愛媛県西宇和郡伊方町湊浦ほか2件
交付金事業の概要		タブレット（生徒、担任用）173台、配線工事1式、ノートPC3台、ネットワーク機器1式、画像提示装置11台、ソフトウェア3式、タブレット保管庫9台 安全な環境での情報教育の推進による児童生徒の能力の育成及び教養の向上を図るため、町内全中学校に情報機器を整備します。本事業の実施により、学習意欲を喚起することで学力の向上とともに情報教育のさらなる推進と日常化に繋がる効果が期待されます。

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 伊方町第2次総合計画 基本目標[2]「ふるさと愛いっぱい」の人材（人財）が育つまちづくり 施策2-1 学校教育の充実 3 教育設備・施設の充実 ※コンピューターや校内LAN等のIT設備を更新し、高度情報社会に必要な「情報活用能力」を育成します。</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和元年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>		<p>令和元年度</p>	
<p>事業期間の設定理由</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和2年度</p>	
	<p>購入完了後のICTを活用する授業への教育環境満足度80%以上（回答生徒数148名以上）</p>	<p>目標達成率：満足と回答した数 ÷ 回答数 × 100</p>	<p>成果実績</p>			
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>80</p>	
			<p>達成度</p>			
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>事業実施後、利用状況等を考慮し評価する必要があるため、令和2年度に評価を実施します。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	整備台数	活動実績	台	86	0	173
		活動見込	台	86	0	173
		達成度	%	100.0%	0.0%	100.0%
交付金事業の総事業費 等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備 考		
総事業費	18,576,000	0	18,810,000	18,810,000		
交付金充当額	14,000,000	0	14,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	14,000,000	0	14,000,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	情報教育等機器備品購入事業（売買）	制限付一般競争入札	株式会社 ほうきょう	18,810,000		
交付金事業の担当課室	教育委員会事務局 学校教育室					
交付金事業の評価課室	教育委員会事務局 学校教育室					

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	情報教育等機器備品購入事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	伊方町
交付金事業の成果目標	児童・生徒の満足度80%以上（回答者数148名以上）
交付金事業の成果指標	目標達成率：満足と回答した数÷回答数×100
評価年度	令和元年度
成果実績	100%（回答数155名）
目標値	80%
達成度（%）	125%
評価年度の設定理由	令和2年3月に事業完了し、利用状況等を考慮し評価する必要があったため、令和2年度に評価を実施しました。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	—
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

（備考）事業ごとに作成すること。

別紙

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	情報教育等機器備品更新事業	伊方町	7,678,000	6,000,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	情報教育等機器備品更新事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町
交付金事業実施場所		愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
交付金事業の概要		シンククライアント用ホストPC1台、先生用PC1台、生徒用PC35台 安全な環境での情報教育の推進による児童生徒の能力の育成及び教養の向上を図るため、伊方中学校の老朽化した情報機器を更新します。本事業の実施により安全な環境での情報教育及び更なる情報教育の推進が期待されます。

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 伊方町第2次総合計画 基本目標[2]「ふるさと愛いっぱい」の人材（人財）が育つまちづくり 施策2-1 学校教育の充実 3 教育設備・施設の充実 ※コンピューターや校内LAN等のIT設備を更新し、高度情報社会に必要な「情報活用能力」を育成します。</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和元年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和元年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和2年度</p>	
	<p>更新完了後のICTを活用する授業への教育環境満足度80%以上（回答生徒数32名以上）</p>	<p>目標達成率：満足と回答した数÷回答数×100</p>	<p>成果実績</p>			
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>80</p>	
			<p>達成度</p>			
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>事業実施後、利用状況等を考慮し評価する必要があるため、令和2年度に評価を実施します。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	更新台数 (ホスト用PC含む)		活動実績	台	86	0	37
			活動見込	台	86	0	37
			達成度	%	100.0%	0.0%	100.0%
交付金事業の総事業費 等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備 考			
総事業費	18,576,000	0	7,678,000	7,678,000			
交付金充当額	14,000,000	0	6,000,000				
うち文部科学省分	0	0	0				
うち経済産業省分	14,000,000	0	6,000,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
情報教育等機器備品更新事業（売買）		制限付一般競争入札		株式会社 ほうきょう		7,678,000	
交付金事業の担当課室	教育委員会事務局 学校教育室						
交付金事業の評価課室	教育委員会事務局 学校教育室						

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	情報教育等機器備品更新事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	伊方町
交付金事業の成果目標	児童・生徒の満足度80%以上（回答者数32名以上）
交付金事業の成果指標	目標達成率：満足と回答した数÷回答数×100
評価年度	令和2年度
成果実績	100%（回答数61名）
目標値	80%
達成度（%）	125%
評価年度の設定理由	令和2年3月に事業完了し、利用状況等を考慮し評価する必要があったため、令和2年度に評価を実施しました。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	—
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

（備考）事業ごとに作成すること。

別紙

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	伊方町国民健康保険診療所 医療機器整備事業	伊方町	7,172,000	6,000,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方町国民健康保険診療所医療機器整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町
交付金事業実施場所		愛媛県西宇和郡伊方町三机
交付金事業の概要	<p>超音波画像診断装置1台、ベッドサイドモニタ1台 受診患者の病状の早期診断及び入院患者の心拍数等の随時監視による医療の向上を図るため、瀬戸診療所の老朽化した医療機器を更新します。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 伊方町第2次総合計画 基本目標[1]保健・医療・福祉 ～絆で創る、健康長寿と町民総活躍のまちづくり 施策1-2 医療体制の充実 1 地域医療の充実 ※地域医療を支える診療所の医療機器等の整備・充実により、高度で良質な医療サービスを提供します。 目標：機器を更新し、受診患者の病状の早期診断、早期治療、的確な入院患者の病状把握等により、適切な医療を安心して受けることのできる体制を整えます。</p>	

事業開始年度	令和元年度		事業終了（予定）年度	令和元年度		
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	受診患者の 病状の早期 診断及び入 院患者の心 拍数等の随 時監視によ り医療の向 上を図る。	—	成果実績		—	
			目標値		—	
			達成度		—	
	評価年度の設定理由					
	事業実施後、利用状況等を考慮し評価する必要があるため、令和2年度に評価を実施します。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本事業により、受診患者の病状の早期診断及び入院患者の心拍数等の随時監視が適切に実施できるようになり、これにより高度で良質な医療サービスを住民に提供することで、医療の向上が図れました。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年年度
	整備台数	活動実績	台	3	1	2
		活動見込	台	3	1	2
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費 等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考		
総事業費	5,610,600	1,723,540	7,172,000	7,172,000		
交付金充当額	5,200,000	1,400,000	6,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	5,200,000	1,400,000	6,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
伊方町国民健康保険診療所 医療機器整備事業（売買）		制限付き一般競争入札		共和医理器株式会社		7,172,000
交付金事業の担当課室		町民課 医療対策室				
交付金事業の評価課室		町民課 医療対策室				

別紙

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方町電源立地地域対策交付金上水道重要給水施設等管路耐震化基金造成事業	伊方町	322,028,000	322,028,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方町電源立地地域対策交付金上水道重要給水施設等管路耐震化基金造成事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所		愛媛県西宇和郡伊方町三崎ほか3件	
交付金事業の概要		<p>今後発生が予想される南海トラフ巨大地震の減災対策として、水道施設の内、重要給水施設管路（行政拠点・医療施設・避難所等の給水に関連する管路）及び老朽化により緊急性の高い管路の耐震化を早急に取り組み、自然災害等による被災時に、できる限り安定した給水を確保し、町民の安心・安全な生活の早期復興を図ることを目的として、耐震化工事に充てるための基金を造成します。</p> <p>重要給水施設管路等、L=6,000m、耐震化工事、R2-5fy</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策： 伊方町第2次総合計画 基本目標[1]自然環境・環境保全 ～豊かで美しい環境で暮らす、自然を楽しむまちづくり 施策4-2 上・下水道の整備 1 重要給水施設管路耐震化事業 ※南海トラフ地震に備え、発生後の日常生活及び産業経済活動の早期復興を図ります。 目標：総整備延長L=18,000m</p>	
事業開始年度		令和元年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由			

	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和6年度		
	交付金事業の成果目標 及び成果実績	自然災害等 被災時にお ける安定し た給水確保 により町民 の安全・安 心を確保 します。	一	成果実績			—	
目標値						—		
達成度						—		
評価年度の設定理由								
第1期工事の完了予定が令和5年度のため、令和6年度に評価を実施します。								
交付金事業の定性的な成果及び評価等								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績		活動指標			単位	令和元年度	年度	年度
	基金造成数		活動実績	件	1			
			活動見込	件	1			
			達成度	%	100.0%			

交付金事業の総事業費等	令和元年度	年度	年度	備考
総事業費	322,028,000			
交付金充当額	322,028,000			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	322,028,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
基金造成	積立	—	—	
交付金事業の担当課室	上下水道課 上水道室			
交付金事業の評価課室	上下水道課 上水道室			